

平成25年5月29日

第1回三条市こども未来委員会

資料1

すまいる子どもプラン

平成24年度事業実施状況

平成25年度事業実施計画

平成25年5月29日

三条市教育委員会子育て支援課

すまいる子どもプラン 平成24年度事業実施状況・平成25年度事業実施計画一覧

1 ハッピー子育てプロジェクト

施策 1 子育ての不安感・負担感の緩和

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	担当課等	事業概要	平成24年度実施状況	前年度比区分	平成25年度実施計画	備考
1	プレママ・プレパパ教室の実施	子育て支援課	妊娠中の夫婦を対象に、妊娠中から家族ぐるみで子育てすることの大切さについて意識啓発を図るとともに、同時期に育児体験をする仲間づくりの機会を提供することで、子育ての孤立感や不安感を軽減し、安全・安心な出産、子育てにつながる教室を開講する。また、この機会をとらえてマタニティマークの普及を図る。	妊娠期から夫婦で子育てをすることや健康づくりを推進するため、妊婦とその夫を対象に「エンジョイパパママ教室」を定期的に実施した。 【実施回数】 2回コースの教室として年間12回(6クール)実施 【対象者】 妊娠期の夫婦を対象として初産・経産を問わず対象 【内容】 妊娠期からの健康づくりと家庭教育の推進 ・第1コース参加者数102組 受講率14.7% ・第2コース参加者数 83組 受講率11.6%	継続	実施回数、対象者は昨年度と同様とするが、講座内容については、これまでの講義中心の形式から、育児アドバイスDVDを活用することにより、夫婦間や参加者同士のコミュニケーションを促すような、参加型の形式を取り入れ、質の向上を図る。	
2	子育て出前講座の実施	子育て支援課	子育てに関する様々なテーマを設定し、要望のある市民の元へ直接出向き、子育て版出前講座を実施し、学習機会を提供する。	ママサークルを対象に1回実施した。 【家庭教育講座】 実施日：平成24年11月27日実施 参加者：大人9人、子11人	継続	講座内容や実施方法を見直すとともに、PTA、ママサークル等への周知を強化し、実施回数の増加を図る。	
3	子育てアドバイスブックの配布	子育て支援課	子どもの成長の特徴、育ちに応じた子育てのポイントや「こんな時はどうしたらいいの？」と悩んだ時に役立つ簡単なQ&Aも盛り込んだ「子育てお役立ち冊子」を作成し、配布する。	各種健診時において配布するとともに、5月以降、出生届を出した保護者や希望する保育者にも配付した。	継続	引き続き、出生届を出した保護者に子どもの成長などが記録できる「すまいるファイル」と合わせて配布する。 また、各種健診時に持参していただき、冊子を用いた具体的な指導を積極的に行っていく。	
4	父親の子育て応援事業の実施	市民窓口課 子育て支援課	父親が積極的に子育てすることができるよう、育児方法や遊び方などの具体的な指導を行い、父親の子育て力の向上を支援する。	実施なし	新規	父親の子育てへの参加を促進するため、すまいるランドにおいて父親も参加しやすい講座を実施する。	

【継続事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	平成24年度実施状況	前年度比区分	平成25年度実施計画	備考
6	児童扶養手当	子育て支援課	父母の離婚などで、父又は母と生計を同じくしていない子どもが育成される家庭(ひとり親家庭)の生活の安定と自立の促進に寄与し、子どもの福祉の増進を図ることを目的に、満18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある児童を監護している者に手当を支給する。	【支給件数】 ・全部支給： 4,430件 ・一部支給： 5,009件 ・2子加算： 3,991件 ・3子加算： 847件	縮小	平成25年10月支給分から手当月額の支給を、現在の41,430円(全部支給)～9,780円(一部支給)から41,140円～9,710円に引き下げる。 (従前手当て月額から0.7%引き下げ)	
9	子ども医療費助成 (乳幼児医療費助成)	子育て支援課	子どもの保護者の経済的負担の軽減を図り、安心して子どもを生み育てる環境整備に寄与することを目的に、子どもの医療費の一部をその保護者に助成する。	通院：出生から小学校就学前まで (3人以上子どもを有する場合は小学校修了まで) 入院：出生から小学校修了まで また、平成24年9月から、3人以上子どもを有する場合について、通院、入院とも中学校修了までに拡充した。	拡充	平成25年9月から通院に対する助成を小学校3年生まで(満9歳に達する日以後の最初の3月末日まで)に拡充する。	
				【助成件数】 112,846件 【助成額】 170,922,505円			

すまいる子どもプラン 平成24年度事業実施状況・平成25年度事業実施計画一覧

1 ハッピー子育てプロジェクト

施策 2 親子が気軽に集える場づくり

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	平成24年度実施状況	前年度比区分	平成25年度実施計画	備考
1	子育て支援センターの拡充	子育て支援課	保内保育所、旭保育所に隣接する子育て支援センターを設置し、子育て広場、相談事業や一時保育を行い、地域での保育の充実を図る。	子育て支援センター・すまいるランド連絡会議を2回開催するとともに、先進地視察を行い施設間の連携及び職員の資質向上に努めた。 【子育て支援センター】 7か所 【実績】 ・利用人数:33,706人(1日平均 約159人)	継続	子育て支援センター・すまいるランド連絡会議を開催し、施設間の連携を図るとともに、利用者の声を聞きながら、講座内容等の見直しなどセンター事業の充実に努める。	

【継続事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	平成24年度実施状況	前年度比区分	平成25年度実施計画	備考
2	すまいるランド	子育て支援課	親子が安心して集い、語り合い、交流し、相談する場として子育て拠点施設を開設し、各種イベントや子育て講座、相談、休日一時保育等を実施する。	開館時間及び休日一時保育の実施時間を延長した。また、年末の開館日を延長した。 【開館時間】 午前9時～午後6時 【休日一時保育】 午前8時～午後6時 【年末年始の休館日】 12月30日～1月3日 【実績】 ・利用人数:55,370人(1日平均 約163人) ・各種講座:201回 ・休日一時保育:80日147人 自転車広場のコース延長を行った。	継続	各種イベントや子育て講座について、より参加しやすいものとなるよう利用者の声を聞きながら、実施回数や講座内容等の見直しなど充実に努める。	

すまいる子どもプラン 平成24年度事業実施状況・平成25年度事業実施計画一覧

1 ハッピー子育てプロジェクト

施策 3 子どもの健やかな成長への支援

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	平成24年度実施状況	前年度比区分	平成25年度実施計画	備考
1	幼児期からの生活習慣病予防の啓発	健康づくり課 子育て支援課	生活習慣病予防に資するため、3歳児健診での肥満指導の充実を図るとともに、健診終了後に保健指導が継続されているかを、個別に保健師等が訪問し、生活習慣病予防の啓発を行う。	1歳6か月・3歳児健診において、栄養士による生活習慣病予防の集団指導及び1歳6か月・2歳・2歳6か月・3歳児健診において保健師・栄養士による個別指導を実施。3歳児健診後も保健指導内容が継続されているか個別に保健師等が訪問等によりフォローした。 【集団指導】 実施回数：24回 指導実施人数：1,559人 【個別指導】 指導実施人数：138人	継続	引き続き、健診時に生活習慣病予防のための集団指導及び個別指導を実施する。また、生活習慣病の予防と各時期にあった具体的な指導に結び付けるため、一人一人の管理指標（食物の好き嫌い、毎日の就寝時間などの指標）の見直しを検討する。	
2	生活習慣（早寝、早起き、朝ごはん）定着の啓発	健康づくり課 子育て支援課	子どもの健やかな成長のためには、正しい基本的な生活習慣を身に付けることが必要であることから、生活習慣に関する啓発チラシを子育て家庭に対し配布し、生活習慣定着を支援する。	保育所での子育て講座や、小学校就学時健診等を活用し、生活習慣定着の説明をし、パンフレットを配布した。 【啓発回数】77回 ・保育所での子育て講座開催時：21回 ・小学校就学の子育て講座開催時：24回 ・中学校就学の子育て講座開催時：8回 ・1歳半児健診時：12回 ・3歳児健診時：12回 【朝食をとる割合】 ・4歳児 95.7% ・5歳児 99.2%	継続	身に付けてほしい生活習慣の周知を図るため、引き続き保育所での子育て講座や小学校就学時健診などの機会を捉え、生活習慣の説明やパンフレットの配布などを行う。	

すまいる子どもプラン 平成24年度事業実施状況・平成25年度事業実施計画一覧

1 ハッピー子育てプロジェクト

施策 4 子育て情報発信の充実

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	平成24年度実施状況	前年度比区分	平成25年度実施計画	備考
1	子育てポータルサイトの実施	子育て支援課	現在の子育て家庭は、インターネットから子育て関連の情報を得る率が高いことから、平成21年度中に開設を予定している子育てポータルサイトを活用し、子育て関連の情報発信に努めることで、親同士の情報交換の活性化や子育て関連の情報提供の充実が期待される。	すまいるランドや各子育て支援センターの行事の定期的な更新を行った。	継続	子育て支援団体やママサークル等から意見聴取を行い、それを踏まえ情報管理課及び管理団体のNPOさんじょうと市民が情報を提供しやすい環境となるよう協議を行い、サイトの活性化を図る。	平成24年度からNPOさんじょうに事業移管

【継続事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	平成24年度実施状況	前年度比区分	平成25年度実施計画	備考
3	子育て通信	健康づくり課 子育て支援課	6か月児の保護者を対象に、離乳食相談会の案内や7か月児健診の受診券、発育や育児に関するアドバイスを年12回(月1回)個別に通知する。	子育て支援情報メールの配信を開始した。 ・配信回数 10回 ・登録者数 877人	継続	子育て支援情報メールの掲載内容等の検討を行い、実施方法を見直し、登録数の拡大に努める。	

すまいる子どもプラン 平成24年度事業実施状況・平成25年度事業実施計画一覧

2 未来を拓く学びプロジェクト

施策 5 幼児教育の推進

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	平成24年度実施状況	前年度比区分	平成25年度実施計画	備考
1	幼児教育振興に関するプログラムの策定	子育て支援課	幼児期における教育の重要性を鑑み、幼稚園、保育所、公私立を問わず、市内の全幼児(3歳から5歳)を対象とした「幼児教育の振興に関する政策プログラム」を策定し、幼児教育の推進を図る。		完了		
2	幼保小連携の推進	小中一貫教育推進課 子育て支援課	「幼児教育の振興に関する政策プログラム」に基づいて実施し、子ども同士の交流や教職員同士の交流を行うとともに、「幼保小連携カリキュラム」を策定し、幼児期から小学校への滑らかな接続を図る。	アンケート調査や施設訪問等を通じ幼保小連携の取組の状況を確認し、より一層の効果的な取組に向け、実務担当者会議や研修会を開催した。 また、家庭でも小学校就学に向けた生活習慣づくり等が積極的に取り組んでもらえるよう家庭版モデルプログラム「わくわくチャレンジ」を通じて啓発を行った。	継続	取組状況を把握するため、施設への訪問やアンケート調査を実施する。 また、より効果的な取組に繋げるため、幼保小連携会議及び研修会を開催するとともに、家庭と一緒に取り組んでいけるよう啓発を行う。	幼児教育推進会議で審議

すまいる子どもプラン 平成24年度事業実施状況・平成25年度事業実施計画一覧

2 未来を拓く学びプロジェクト

施策 6 特色ある学校教育の推進

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	平成24年度実施状況	前年度比区分	平成25年度実施計画	備考
1	小中一貫教育の推進	小中一貫教育推進課	小中の教職員が連携して9年間を見通した教育を実施することにより、子どもたちの学力が向上するとともに、より豊かな人間性を身に付けることができる小中一貫教育を推進する。	各教科等モデルカリキュラム「中学校編」の作成及び昨年度作成した「小学校編」の各中学校区での自校区化を行った。 また、各中学校区小中一貫教育推進協議会を開催し、各中学校区ごとに計画的に小中一貫教育の取組を進めた。 各中学校区において「小中一貫教育だより」等を発行し、保護者、地域に向けて小中一貫教育の推進状況などを広報し、理解を深めた。	拡充	各中学校区小中一貫教育グランドデザインに基づき、中学校区推進協議会での検討により実施計画を作成し、小中学校9年間を見通した小中連携、交流活動、小中一貫教育カリキュラムを活用した授業実践等、着実な実施を図る。また、各中学校区「小中一貫教育推進だより」等の発行により、小中一貫教育の取組について保護者、地域住民への啓発を一層促進する。	小中一貫教育推進委員会で審議
2	家庭形成学習の推進	小中一貫教育推進課 子育て支援課	子どもが将来、家庭を築く際に学んでおくべきことや体験すべきことを網羅した家庭形成に関するプログラムを策定し、中学生時期から家庭生活や家族について学び、具体的な体験をすることで、子どもが家庭形成について考える機会を確保する。	実施なし	新規	現在、中学校では家庭科の学習の中で幼児とのふれあい授業等を実施しているが、家庭形成学習についての現状を整理し、今後の家庭形成学習のあり方について検討を行う。	

すまいる子どもプラン 平成24年度事業実施状況・平成25年度事業実施計画一覧

3 子どもの交流活動プロジェクト

施策 7 放課後活動の促進

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	平成24年度実施状況	前年度比区分	平成25年度実施計画	備考
1	放課後子どもプランの推進	子育て支援課	児童クラブの充実及び放課後子ども教室の実施箇所数を増加させることで、放課後の子どもたちの安心安全な居場所を確保し、地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境の充実を図る。	児童クラブでは、主任指導員会議や代表者会議等で課題の把握に努めるとともに、現時点で対応可能な施設の移転や障がい児の受入等について対応した。 放課後子ども教室では、連絡協議会を開催し、実施教室間の情報共有や課題への対策に向けた検討を行った。	継続	現在、小学校の特別教室を利用して運営している西鱈田児童クラブについて、専用の児童クラブ室を校地内に整備し、環境改善を図る。 また、児童クラブの登録児童数の増加、受入施設の対応、障がい児への対応、職員の雇用など中長期的な観点からの課題を洗い出すとともに、放課後子ども教室を含めた放課後子どもプランの将来像について検討を行う。 (別紙1、別紙2)	
2	児童・青少年の居場所づくりの検討	子育て支援課	児童・青少年が、屋内施設で自由に遊べ、学べる居場所が市内に少ないことから、市内小学校跡地を活用し、自由に集える居場所づくりについて検討する。	南小学校校舎及び南幼稚園園舎の利活用案について検討を行った。	継続	昨年度に引き続き検討を行う。	

すまいる子どもプラン 平成24年度事業実施状況・平成25年度事業実施計画一覧

3 子どもの交流活動プロジェクト

施策 8 遊び場の充実

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	平成24年度実施状況	前年度比区分	平成25年度実施計画	備考
1	公園・緑地・児童遊園整備の充実	建設課	市内の公園・緑地の充実のため、新しいコンセプトのもと、子どもたちの遊び場として既存の公園を整備し、子どもがのびのびと屋外で遊べる環境の充実を図る。	ポケットパーク2号(八幡町)及び直江町四丁目地内公園の整備を行った。	拡充	ポケットパーク11号(田島1丁目)の整備を行う。	

【継続事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	平成24年度実施状況	前年度比区分	平成25年度実施計画	備考
2	子どもの遊び場 (公共施設開放)	子育て支援課	未就学児とその保護者又は小学生が、安全で安心して遊べる場所を提供するため、「子どもの遊び場」として公共施設の一部(乳幼児対象6か所、小学生対象3か所、乳幼児・小学生対象2か所)を開放する。	【開放施設】 ・子育て支援センター7か所 ・厚生福祉会館体育館 ・サンファーム三条多目的交流研修室 ・ソレイユ多目的ホール ・青少年育成センタープレイルーム ・嵐南公民館プレイルーム	拡充	これまでの施設に加え、総合体育館、栄体育館、下田体育館の利用の空き時間についても子どもの遊び場として開放する。	

すまいる子どもプラン 平成24年度事業実施状況・平成25年度事業実施計画一覧

4 ワークライフバランスプロジェクト

施策 9 多様なニーズに応じた保育サービスの充実

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	平成24年度実施状況	前年度比区分	平成25年度実施計画	備考
1	乳児保育の拡充	子育て支援課	市内全ての保育所において、乳児保育を実施することにより、産後休暇や育児休暇終了後の就労に対応し、保護者特に母親の就労援助を図る。	平成24年4月より民営化した川通どれみ保育園で施設改修を行い、7月から新たに乳児保育を開始した。(実績:4人) また、同保育園の移転改築に着手し、乳児保育の拡充が図られるよう必要な支援を行った。	拡充	乳児保育の拡充が図られるよう、引き続き川通どれみ保育園の移転改築に必要な支援を行う。 また、須頃・大島統合保育所の建設事業に着手し、平成27年度内の開所に向け関係機関との協議を行い、未満児保育の充実を図る。 (別紙3)	
2	一時保育の充実	子育て支援課	保内保育所、旭保育所に隣接する子育て支援センターを設置し、一時保育を行う箇所の拡大を図る。	すまいるランド休日一時保育の実施時間を午前8時～午後6時に延長し、実施した。 【休日一時保育】 ・すまいるランド 80日147人 【一時保育】 ・子育て支援センター7か所 245日2,269人	継続	他市の実施状況等の情報収集を行い、一時保育の充実について検討する。	
3	発達支援保育(学童保育)の充実	子育て支援課	学童保育について、発達支援を要する児童の受入数が増えているため、指導員が専門的な知識を習得するための研修等を実施し、発達支援保育の充実を図る。	指導員が発達支援に関する知識を取得するため、専門の講師のセミナーへの参加や事例によるグループワーク研修を行った。	継続	引き続き指導員の研修を実施するとともに、日々の保育の中で自主的に問題意識を持ち、職員間で検討したり情報を共有したりできるよう各種会議を通じながら保育の質の向上を図る。	
4	休日保育実施の検討	子育て支援課	就労形態の多様化に伴い、休日勤務等により家庭で保育できない児童及び急な事情で休日の保育が必要な児童を保育する休日保育の実施について検討する。	実施なし	新規	休日保育に対するニーズ調査の実施を検討する。	
5	病児・病後児保育実施の検討	子育て支援課	病気などのために登所・登園できず、家庭での保育も難しい児童を市内医療機関と提携し、病児、病後児保育の実施について検討する。	病児・病後児保育の実施に向け、関係機関と協議・調整を行った。 また、先進地視察を行う等、情報収集に努めた。	継続	病児・病後児保育の実施に向け、引き続き医療機関などの関係機関との協議・調整を行う。	
6	保育所の民営化・統合の推進	子育て支援課	平成20年11月に策定した三条市公立保育所民営化等年次計画に基づき、民営化・統合を実施する。	平成25年度民営化(統廃合)に向け、説明会等を実施した。 ・田島保育所 ・荒沢保育所(名下保育所統合)	継続	民営化…田島わくわく保育園、あさわ保育園(計画終了) 公立統合…須頃・大島統合保育所の建設事業に着手し、関係機関との協議・調整を行いながら平成27年度中の開所を目指す。 (別紙3)	

すまいる子どもプラン 平成24年度事業実施状況・平成25年度事業実施計画一覧

4 ワークライフバランスプロジェクト

施策 10 母子家庭の就労支援

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	平成24年度実施状況	前年度比区分	平成25年度実施計画	備考
1	高等技能訓練費助成制度の実施	子育て支援課	母子家庭の母が看護師や介護福祉士等の資格取得のため2年以上養成機関で修業する場合、月額141,000円(12か月を上限)を支給し、母子家庭における就労を支援し、家庭生活の安定を図る。	【給付実績】 ・高等技能訓練促進費:2件 ・修了一時金:2件	拡充	平成25年4月以降に受講する場合の事業対象者を、従前の母子家庭の母から、ひとり親家庭の母及び父に拡充する。	

【継続事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	平成24年度実施状況	前年度比区分	平成25年度実施計画	備考
1	自立支援訓練費助成	子育て支援課	ひとり親家庭の母及び父が就職に有利な教育訓練を受講する場合、受講料の一部を給付し、自立を促す。	給付なし	拡充	平成25年4月以降に受講する場合の事業対象者を、従前の母子家庭の母から、ひとり親家庭の母及び父に拡充する。	

すまいる子どもプラン 平成24年度事業実施状況・平成25年度事業実施計画一覧

4 ワークライフバランスプロジェクト

施策 11 子育てしやすい職場環境の充実

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	平成24年度実施状況	前年度比区分	平成25年度実施計画	備考
1	ワークライフバランス啓発事業の実施	商工課 市民窓口課 子育て支援課	すべての子育て家庭において、仕事と子育てのバランスがとれる多様な働き方が選択できるよう、労働者、事業者、地域住民等の社会全体の意識改革を推進するための広報や情報提供を行う。また、ワークライフバランスに関するフォーラムを開催するなど、関係機関と連携しながら、子育てしやすい職場環境の充実に努める。	(財)新潟県女性財団と共催(市民窓口課・商工課)で、ワークライフバランスに関する地域セミナー「もしも家族が要介護になったら」を実施した。 【実施日】平成25年3月16日	継続	平成24年度に引き続き(財)新潟県女性財団と共催でセミナーを実施する。	

すまいる子どもプラン 平成24年度事業実施状況・平成25年度事業実施計画一覧

5 子育て応援社会プロジェクト

施策 12 地域全体で子育てを支える仕組みづくり

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	担当課等	事業概要	平成24年度実施状況	前年度比区分	平成25年度実施計画	備考
1	子育て応援運動の実施	子育て支援課	これから親になる方や子育て中の親子に対し、市民(個人・団体・事業所)一人一人が自分のできるほんの少しの思いやりやお手伝いしたい気持ちを言葉で表し、行動することを宣言・実行する取組を実施し、社会全体で子育てを行う機運を高める。	三条マルシェなどのイベントや、各種団体の総会等において、事業概要を説明し、事業の周知に努めた。 【宣言数】 ・個人:516件 ・団体:34件 ・事業所:40件	継続	各種団体の総会や事業所などに出向き、事業概要の説明及び周知活動を行い、宣言数の増加に努める。	
2	子育て支援フォーラムの実施	子育て支援課	次代を担う子どもを地域がしっかりと育み、「子どもを生み育てることが幸せと感じられ、子どもの笑顔があふれるまち」を実現したいという思いを共有するために、次世代育成に視点を当てたフォーラムを開催する。	実施なし	継続	実施予定なし	
3	子どもの権利に関する啓発	子育て支援課	次代を担うすべての子どもの権利が擁護され、意見が尊重される環境づくりのため、家庭・地域社会、子ども自身に対して「子どもの権利条約」の趣旨について、普及啓発を行い、子どもの権利が尊重される社会づくりを推進する。	子どもの権利尊重に関するチラシを作成し、家庭教育講座開催時に配布し、普及啓発を行った。 【啓発回数】53回 保育所:21回 小学校:24回 中学校:8回	継続	子どもの権利尊重に関するチラシを、保育所(園)、小中学校で開催する家庭教育講座の際に配布し、普及啓発を行う。 【啓発予定】 保育所(園):28回 小学校:24回 中学校:9回	
4	子育て団体やサークルへの支援	子育て支援課	今後、市全体で子育て支援を進めていくためには、子育て団体、子育てサークルの育成・支援が急務であることから、団体やサークルの情報発信支援やマッチングイベントなどを開催し、団体、サークル活動を支援する。	すまいるランド内の「子育てサークル紹介コーナー」で、市内の子育て団体の情報発信支援を行った。 また、三条マルシェ等のイベントに出店してもらい、サークルの周知に努めた。	継続	すまいるランド内の「子育てサークル紹介コーナー」で、市内の子育て団体の情報発信支援を行う。 また、三条マルシェ等のイベントへ出店を通してサークルの周知の支援を行う。	

すまいる子どもプラン 平成24年度事業実施状況・平成25年度事業実施計画一覧

5 子育て応援社会プロジェクト

施策 13 地域における安全安心の確保

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	平成24年度実施状況	前年度比区分	平成25年度実施計画	備考
1	地域安全マップづくり	環境課	日常生活において、子どもが犯罪や事故に巻き込まれる事件が増加しており、子どもの安全を守る取組が重要となっていることから、子どもと地域の大人が地元を点検したうえで、地域安全マップを作成し、地域ぐるみの防犯活動を推進する。	実施なし	新規	三條市安全・安心なまちづくり条例の施行に伴い、今後策定する推進計画において地域ぐるみの新たな防犯活動を検討する。	

すまいる子どもプラン 平成24年度事業実施状況・平成25年度事業実施計画一覧

6 子ども・若者支援プロジェクト

施策 14 総合サポートシステムの充実

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	平成24年度実施状況	前年度比区分	平成25年度実施計画	備考
1	総合サポートシステムの充実	子育て支援課	様々な問題で支援を必要としている乳幼児から青年期までを対象に、切れ目なく継続的な支援を行うため、総合的で一貫した支援システムを推進する。	子ども・若者総合サポート会議代表者会議、実務担当者会議を開催した。関係機関職員対象の研修を開催した。子どもの虐待防止講演会、発達応援セミナーを開催した。保育所(園)、幼稚園、小中学校に対し、周知チラシを配付した。また、就学時健診、中学校での進学説明会で説明した。市内高等学校など関係機関職員に周知を行った。発達障がい支援体制の構築を進めた。	継続	チラシ内容の充実や、周知の幅を近隣の高等学校に広げるなどして、市民、関係機関、実務担当者への周知の充実を図る。また、発達障がいの適切な早期対応を図るための「三条っ子発達応援事業」のH26年度本格実施に向け、保育所(園)・幼稚園8か所で模擬実施を行い、検証する。	

すまいる子どもプラン 平成24年度事業実施状況・平成25年度事業実施計画一覧

6 子ども・若者支援プロジェクト

施策 15 相談事業の充実

【新規・拡充として想定される事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	平成24年度実施状況	前年度比区分	平成25年度実施計画	備考
1	臨床心理士による「すまいる心の相談」の実施	子育て支援課	幼児期からの子どもの心の発達支援を行うため、すまいるランドにおいて、子どもとその保護者を対象とした臨床心理士による「すまいる心の相談」を行う。	未就学～小学校低学年の子どもの保護者や保育者から、子どもの心の発達や行動への対応方法に関する相談を行った。 【実施回数】 12回 【相談者数】 31人 ※ 毎月ほぼ予約が埋まり、申込定員を超え、キャンセル待ちで相談を受けた月もあった。	拡充	これまでの実施状況を踏まえ、他の相談事業も統合し、名称を「子どもの発達・子育て相談」として、相談できる回数等を大幅に増やし、実施する。 【相談時間】 月～金曜日8:30～17:00 【相談場所】 栄庁舎子どもの育ちサポートセンター 【内容】 子どもの発達、子育ての悩みについて、保健師や臨床心理士が相談に応じる。臨床心理士の相談については事前予約必要。 (別紙4)	

【継続事業】

No	事業名	主担当課等	事業概要	平成24年度実施状況	前年度比区分	平成25年度実施計画	備考
7	子ども発達相談室	子育て支援課	就学前のこどもの心身の発達や言葉の発達について、児童通所サービスとして集団指導、言語指導を行う。	【集団指導】 延べ875人 【言語指導】 延べ808人	拡充	名称を「子ども発達ルーム」に変更し、9月から栄庁舎3階に活動拠点を移し、集団指導、言語指導ともに実施するクラスを、それぞれ2室に拡充し、充実を図る。	